



これまでの放送業界
これからの放送業界

●講演：重村 一 (ニッポン放送会長)

●司会：里中 哲彦 (英語科講師)

日本社会において六〇歳になったテレビは、人びとの生活のうちに深く定着し、社会全体に大きな影響力を有するにいたった。テレビが文化の枢要を形づくるのに大きくあずかってきたことは言を俟たない。

このテレビを、幼いころから育ててきた放送人がいる。重村一氏である。テレビの現在・過去・未来を、縦横無尽に語ることのできる斯界の第一人者だ。

テレビは、いままやテレビは、テレビ局を中心としたいわゆる「業界」だけでなく、もっと多様な意味と役割をもつにいたった。もちろん、その仕掛け人は、メディアの中枢にいる人たちだ。彼らは、どんな思いをテレビに託してきたのか。

放送業界の巨星が、テレビの素顔に迫る。(里中哲彦)

■プロフィール

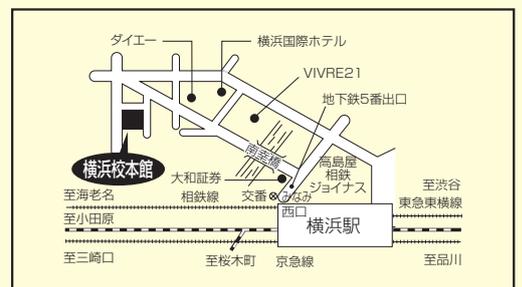
ニッポン放送代表取締役会長。早稲田大学政治経済学部卒業後、フジテレビジョンに入社。報道を経て、編成(主にドラマ)に従事。87年に編成部長、94年に編成局長を歴任。97年には取締役就任とともに、ルパート・マードック氏と孫正義氏が立ち上げたジェイ・スカイ・ビーの代表取締役副社長に就任、FIFAワールドカップの放映権獲得に尽力した。03年6月、スカイパーフェクト・コミュニケーションズ(現・スカパー JSAT) 代表取締役社長に就任。06年6月にはニッポン放送会長の職に就いた。また、東映アニメーション取締役、日活クリエイティブアドバイザーも務める。J-WAVE 取締役、日本映画テレビプロデューサー協会副会長、国際ドラマフェスティバル実行副委員長・エグゼクティブプロデューサーなども兼務している。



9月29日(火) 18:00~19:30
横浜校本館 6S教室

入場無料
申込不要

〒220-0005 横浜市西区南幸 2-11-9
☎0120-192-149
●JR・東急東横線・京急線・相鉄線・みなとみらい線・横浜
市営地下鉄/横浜駅下車 徒歩 5分



※どなたでも自由に参加できます。